

学校教育目標 「郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる子」

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校

学校だより No.2

平成 30 年 (2018 年) 4 月 17 日

スタートして 1 週間

始業式では、進級した在校生 2 年生から 6 年生の児童に次のような話をしました。

4 月は、新しい学年で、新しい先生で、新しい学習の一步を踏み出す季節です。ほかにも新しいことが始まる機会が多い季節です。何事にも粘り強く、最後まであきらめずに努力をしてほしいと思います。『天才は 1 パーセントの才能と 99 パーセント努力である。』という名言があります。最初から上手くできる人はいません。失敗しても恥ずかしくありません。何回失敗してもくじけないでください。努力は必ず報われます。

そして次のように付け足しました。『思い通りに行かないときこそ どうがんばるか。』で未来は変わります。思い通りにいっているとき人間は楽です。しかし、『思い通りに行かないときこそ どうがんばるか。』くじけないで、そこを乗り越えたとき、君たちは大きく成長できるはずです。・・・と。



【入学式写真】

子どもの笑顔があふれ 瞳が輝く学校をめざして

学校の教育目標は、今年度も「郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる子」です。

具体的には、3つの思いをもって今年度の学校教育を進めていきたいと思っています。

1 笑顔と活力ある学校

学級活動やたてわり活動を中心にした社会性やコミュニケーション力育成、かがやきの木の取組による人権尊重、児童同士が互いに高め合う集団、いじめを許さない風土づくりなど、子どもたちの笑顔があふれる、生き生きとした学校をめざします。

2 子どもが主人公となる学校

教え込みではなく「わかった」「できた」の喜びのある学習には、自分から取り組み、本や資料や友だちと対話して考えを広め、理解を深められるようにすることが大切です。粘り強く最後までやりきる姿勢や意欲を育て、繰り返し努力したことを認める学校をめざします。

3 この学校で学べてよかったと思える学校

子どもたちは、地域の人や自然から学ぶことが大好きです。本物を見たり聞いたり、本物の感動体験で「できるようになったこと」「がんばったこと」をたくさん蓄えます。授業作りや仲間作りをとおして、この学校でたくましく成長したと思える学校をめざします。

教職員一同、一層努力していきたいと思っています。本年度も皆様方の温かいご支援とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

武村 節子